

2025年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年10月10日
東

上場会社名 大阪有機化学工業株式会社 上場取引所
コード番号 4187 URL <https://www.ooc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 昌幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 本田 宗一 (TEL) 06-6264-5071
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期第3四半期の連結業績(2024年12月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第3四半期	26,699	12.3	4,631	54.5	4,844	57.9	3,435	22.1
2024年11月期第3四半期	23,784	9.3	2,997	△1.9	3,067	△7.0	2,813	4.9

(注) 包括利益 2025年11月期第3四半期 3,792百万円(30.0%) 2024年11月期第3四半期 2,916百万円(△13.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第3四半期	167.63	—
2024年11月期第3四半期	133.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期第3四半期	57,721	46,276	78.8
2024年11月期	59,964	46,139	75.8

(参考) 自己資本 2025年11月期第3四半期 45,485百万円 2024年11月期 45,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	32.00	—	34.00	66.00
2025年11月期	—	35.00	—		
2025年11月期(予想)				34.00	69.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年11月期の連結業績予想(2024年12月1日～2025年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	34,000	4.0	5,000	8.5	5,200	9.4	3,500	△13.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) 韓国大阪有機化学工業、除外 一社 (社名)
株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年11月期 3 Q	22, 410, 038株	2024年11月期	22, 410, 038株
② 期末自己株式数	2025年11月期 3 Q	2, 072, 657株	2024年11月期	1, 283, 303株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年11月期 3 Q	20, 493, 138株	2024年11月期 3 Q	21, 154, 320株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善し、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続いております。しかしながら、物価上昇等を背景に個人消費には弱さもみられております。また、米国の通商政策の影響や中東をめぐる情勢等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下で当社グループは、2024年11月期より2030年11月期までの中期経営計画Progress & Development 2030 (P&D 2030) をスタートいたしました。P&D 2030では、当社グループの経営理念のもと、「特殊アクリル酸エステルのリディングカンパニーとして、グローバル市場に価値を提供する」という経営ビジョンを掲げ、ESGに配慮したサステナブル経営を推進し、企業価値の向上と持続的成長を目指してまいります。

化成成品事業におきましては、製品の統廃合や生産効率の改善等による利益率の向上に努めるとともに、バイオマス由来などの環境に配慮した製品の拡販に注力いたしました。電子材料事業におきましては、最先端半導体材料の開発を加速し、フォトレジスト材料の新規用途への展開に努めてまいりました。機能化学品事業におきましては、化粧品原料の海外展開の強化や高純度特殊溶剤の拡販に取り組んでまいりました。昨年設立した韓国現地法人に続き、今期は北米に販売拠点として合弁会社を設立し、新規顧客の獲得や新市場の開拓により、海外販売体制の強化を図ってまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は266億9千9百万円（前年同四半期比12.3%増）、営業利益は46億3千1百万円（前年同四半期比54.5%増）、経常利益は48億4千4百万円（前年同四半期比57.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億3千5百万円（前年同四半期比22.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。（セグメント間取引を含んでおりません。）

①化成成品事業

化成成品事業におきましては、アクリル酸エステルグループは、自動車用塗料向けの販売は回復傾向となり、ディスプレイ用粘着剤向けやUVインクジェット用インク向けの販売が好調に推移いたしました。メタクリル酸エステルグループは、販売が低調に推移いたしました。この結果、売上高は99億1千5百万円（前年同四半期比5.9%増）、セグメント利益は16億4千7百万円（前年同四半期比11.8%増）となりました。

②電子材料事業

電子材料事業におきましては、半導体材料グループは、最先端のEUVレジスト用原料の販売は減少いたしました。主力であるArFレジスト用原料の販売は回復し、グループ全体の売上高は大幅に増加いたしました。表示材料グループは、タッチパネル用絶縁膜向けの販売は堅調となりましたが、グループ全体の売上高は横ばいで推移いたしました。また、その他グループの販売は増加いたしました。この結果、売上高は122億6千万円（前年同四半期比18.6%増）、セグメント利益は21億7百万円（前年同四半期比95.1%増）となりました。

③機能化学品事業

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループは、販売が横ばいで推移いたしました。機能材料グループは、販売が横ばいで推移いたしました。子会社の高純度特殊溶剤の販売は好調に推移いたしました。この結果、売上高は45億2千3百万円（前年同四半期比10.8%増）、セグメント利益は8億8千5百万円（前年同四半期比94.5%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて22億4千2百万円減少し、577億2千1百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少15億9千6百万円、有形固定資産の減少12億7千6百万円及び保有株式の株価上昇等による投資有価証券の増加5億8千6百万円などによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて23億7千9百万円減少し、114億4千5百万円となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金の減少16億4千2百万円、未払法人税等の減少2億2千2百万円及び長期借入金の減少4億9百万円などによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて1億3千6百万円増加し、462億7千6百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加19億9千7百万円、自己株式の増加21億9千6百万円及びその他有価証券評価差額金の増加2億8千1百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月9日に公表いたしました連結業績予想から修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,047,614	11,451,508
受取手形、売掛金及び契約資産	11,252,037	11,096,622
電子記録債権	374,384	422,959
製品	4,799,006	4,463,774
仕掛品	2,070,025	2,352,259
原材料及び貯蔵品	1,989,293	2,227,241
その他	773,069	824,641
貸倒引当金	△18,415	△17,370
流動資産合計	34,287,015	32,821,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,327,194	7,986,325
機械装置及び運搬具（純額）	7,530,545	6,408,486
土地	2,172,476	2,172,476
建設仮勘定	94,679	243,408
その他（純額）	290,291	328,460
有形固定資産合計	18,415,187	17,139,156
無形固定資産		
のれん	23,333	8,333
その他	50,538	39,213
無形固定資産合計	73,871	47,546
投資その他の資産		
投資有価証券	6,197,896	6,783,931
関係会社株式	96,958	—
退職給付に係る資産	758,144	786,656
繰延税金資産	1,927	2,865
その他	133,712	139,941
投資その他の資産合計	7,188,638	7,713,394
固定資産合計	25,677,697	24,900,098
資産合計	59,964,713	57,721,736

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,924,864	5,995,977
1年内返済予定の長期借入金	2,188,610	546,579
未払金	1,524,265	1,437,560
未払法人税等	895,161	673,146
賞与引当金	—	266,667
役員賞与引当金	42,210	35,801
その他	1,154,766	694,553
流動負債合計	11,729,879	9,650,285
固定負債		
長期借入金	1,337,923	928,808
繰延税金負債	634,911	748,880
役員株式給付引当金	35,086	11,431
その他	86,937	105,672
固定負債合計	2,094,858	1,794,792
負債合計	13,824,737	11,445,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600,295	3,600,295
資本剰余金	3,513,436	3,513,349
利益剰余金	38,727,951	40,725,585
自己株式	△3,129,535	△5,326,200
株主資本合計	42,712,148	42,513,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,344,090	2,625,386
為替換算調整勘定	132,235	111,278
退職給付に係る調整累計額	246,812	235,882
その他の包括利益累計額合計	2,723,138	2,972,547
非支配株主持分	704,689	791,080
純資産合計	46,139,976	46,276,657
負債純資産合計	59,964,713	57,721,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
売上高	23,784,596	26,699,214
売上原価	17,054,506	18,161,361
売上総利益	6,730,089	8,537,853
販売費及び一般管理費	3,732,526	3,906,448
営業利益	2,997,563	4,631,404
営業外収益		
受取利息	3,066	6,130
受取配当金	108,437	128,213
受取保険金	—	101,846
その他	26,988	56,522
営業外収益合計	138,492	292,712
営業外費用		
支払利息	6,896	5,994
為替差損	36,437	69,553
自己株式取得費用	602	2,400
投資事業組合運用損	2,191	1,213
寄付金	22,000	—
その他	43	0
営業外費用合計	68,170	79,162
経常利益	3,067,884	4,844,955
特別利益		
投資有価証券売却益	815,207	27,722
特別利益合計	815,207	27,722
特別損失		
固定資産除却損	1,080	975
特別損失合計	1,080	975
税金等調整前四半期純利益	3,882,011	4,871,701
法人税、住民税及び事業税	1,221,534	1,404,245
法人税等調整額	△193,540	△69,028
法人税等合計	1,027,994	1,335,217
四半期純利益	2,854,016	3,536,484
非支配株主に帰属する四半期純利益	40,425	101,302
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,813,591	3,435,182

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
四半期純利益	2,854,016	3,536,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,692	288,659
為替換算調整勘定	△12,505	△20,956
退職給付に係る調整額	6,672	△11,196
その他の包括利益合計	62,859	256,505
四半期包括利益	2,916,876	3,792,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,875,102	3,684,591
非支配株主に係る四半期包括利益	41,774	108,398

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
減価償却費	2,424,963千円	2,226,685千円
のれんの償却額	14,999千円	14,999千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年1月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得等により自己株式は、当第3四半期連結累計期間に2,196,665千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において5,326,200千円となりました。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

前連結会計年度において非連結子会社であった韓国大阪有機化学工業株式会社は重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(法人税等の税率の変更による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」（令和7年法律第13号）が2025年3月31日に国会で成立し、2026年4月1日以後開始する連結会計年度より「防衛特別法人税」の課税が行われることになりました。

これに伴い、2026年12月1日以後開始する連結会計年度以降において解消が見込まれる一時差異等に係る繰延税金資産及び繰延税金負債については、法定実効税率を30.5%から31.5%に変更し計算しております。

なお、この税率変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
日本	4,588,795	8,815,350	3,159,929	16,564,075	—	16,564,075
アジア・豪州	3,017,911	1,435,167	812,332	5,265,411	—	5,265,411
米州	1,128,897	76,136	88,990	1,294,024	—	1,294,024
欧州	632,207	7,693	21,184	661,085	—	661,085
顧客との契約から生じる収益	9,367,811	10,334,348	4,082,436	23,784,596	—	23,784,596
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,367,811	10,334,348	4,082,436	23,784,596	—	23,784,596
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	308,277	308,277	△308,277	—
計	9,367,811	10,334,348	4,390,713	24,092,873	△308,277	23,784,596
セグメント利益	1,473,482	1,080,166	455,237	3,008,887	△11,323	2,997,563

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
日本	4,853,515	10,462,468	3,482,549	18,798,533	—	18,798,533
アジア・豪州	3,669,219	1,708,950	870,500	6,248,669	—	6,248,669
米州	835,501	86,509	154,986	1,076,997	—	1,076,997
欧州	557,622	2,131	15,259	575,013	—	575,013
顧客との契約から生じる収益	9,915,858	12,260,059	4,523,296	26,699,214	—	26,699,214
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,915,858	12,260,059	4,523,296	26,699,214	—	26,699,214
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	354,914	354,914	△354,914	—
計	9,915,858	12,260,059	4,878,211	27,054,129	△354,914	26,699,214
セグメント利益	1,647,669	2,107,829	885,652	4,641,151	△9,747	4,631,404

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。